

【ポイント】

内政

- 26日、ガブリエル・グルメンデス国営通信公社(ANTEL)総裁は来年の大統領選挙活動に従事するため総裁職を辞任。
- 当地テレビ局が実施したラカジェ・ポウ大統領支持率世論調査結果は、支持:48%、支持しない:32%、どちらでもない:19%、未回答:1%であった。

外交

- 5~6日、第1回日ウルグアイ合同委員会及び第3回政策協議を実施。
- 17日、第13回 EU ウルグアイ合同委員会を実施。
- 第2回ベルギー・ウルグアイ政策協議を実施。
- 18日、デルガド大統領府長官は第3回一帯一路フォーラムに出席。
- 27日、ラカジェ・ポウ大統領は、フェルナンデス亜大統領及びペニャ・パラグアイ大統領との2030年 FIFA ワールドカップ共同開催に向けた協議を実施。

経済

- Google 社は、認可が得られ次第、ウルグアイに計画していたデータセンターを建設することを確認。

【本文】

1 内政

(1)会計報告・補正予算案(Rendicion de cuentas)の可決

17日、当国下院議会は、上院議会で修正された2022年度の会計報告・補正予算案(Rendicion de cuentas)を審議した。下院議会で初めてとなる電子投票による採決が行われ、法案が可決された。

(2)グルメンデス国営通信公社(ANTEL)総裁の辞任

26日、ガブリエル・グルメンデス国営通信公社(ANTEL)総裁は来年の大統領選挙活動に従事するため総裁職を辞任した。同氏が所属するコロラド党のいくつかの派閥がグルメンデス氏を2024年の大統領選挙に向けた予備候補として推していることから、今後同氏は政治活動に従事する。

(3)ラカジェ・ポウ大統領の支持率にかかる世論調査結果

当地エル・pais紙は、当地テレビ局 Canal10が実施したラカジェ・ポウ大統領の支持率にかかる世論調査結果について報じた。10月5日から18日にかけて、18歳以上の有権者1204人を対象に行った本調査によれば、ラカジェ・ポウ大統領を支持するとした回答は48%、支持しないとの回答は32%、どちらでもないとの回答は19%(未回答1%)であった(誤差±2.8%)。

2 外交

(1)第1回日ウルグアイ合同委員会及び第3回政策協議

5日、当地において昨年10月のラカジェ・ポウ大統領訪日の際に立ち上げが合意された第1回日ウルグアイ合同委員会が実施された。日本側は野口泰中南米局長、ウルグアイ側はロカノバ外務省経済総局長を代表に、貿易・投資、DX・5G、GX・脱炭素、官民連携の取組、及び二国間関係の強化につき協議を行った。日本からは、財務省、経済産業省、農林水産省、総務省、特許庁、JICA、JETRO、及びJBICの関係者が参加し、ウルグアイからは、経済財務省、工業エネルギー・鉱業省、及び農牧水産省関係者が出席した。翌6日、野口泰中南米局長及びアルベルト・ニ外務次官は、第3

回日ウルグアイ政策協議を実施。昨年のラカジェ・ポウ大統領訪日以来の協力関係に関するフォローアップに加え、貿易・投資関係、人物交流等の二国間関係強化について確認を行った。

(2) イスラエルに対するテロ攻撃の非難

7日、当国外務省は、イスラエルに対するテロ攻撃を非難する旨のプレスリリースを発売。同プレスリリースでは「ウルグアイ政府及び同国民の名の下、外務省は、市民に対する攻撃を非難するとともに、現在進行中のイスラエル及び同国民に対するテロ行為を断固として非難する。イスラエルと上記攻撃の犠牲者に対して連帯を表明する。」と発表した。

(3) ダニエル・ノボア・エクアドル次期大統領への祝意表明

15日、ラカジェ・ポウ大統領は、同大統領のX(旧ツイッター)アカウントを通じて、ダニエル・ノボア・エクアドル次期大統領当選に関する祝意を表明。ラカジェ・ポウ大統領は、「次期エクアドル大統領に選出されたダニエル・ノボア候補にお祝い申し上げる。エクアドルとウルグアイの二国間関係を引き続き前進させていくことを確信している。」と述べた。

(4) 米・韓・西からの船舶供与及び調達予定

ガルシア国防大臣は、現政権の任期満了までにウルグアイ海軍は、8隻の新たな船舶を調達予定である旨発表した。すでに米国から供与された巡視艇3隻に加え、韓国から供与される巡視艇1隻、ドイツの救助艇1隻及びスペインの造船所で建造予定の巡視船2隻の購入が予定されており、ガルシア国防大臣は、ラカジェ・ポウ大統領がスペインの船舶購入にかかる契約書に署名したところであると述べた。さらにガルシア国防大臣は、安全水域回廊をマッピングするために必要不可欠な米国の海洋調査船1隻も購入予定であり、来年の上半期にウルグアイに到着予定であると述べ、同船舶は共和国大学やその他の公的機関の科学者らが使用することになると発言した。

(5) 第13回 EU ウルグアイ合同委員会

17日、EU 側のハビエル・ニーニョ・ペレス欧州対外活動庁(EEAS)米州局次長及びウルグアイ側のベルムデス外務省政務総局長を共同議長に、ブリュッセルにおいて第13回 EU ブリュッセル合同委員会が開催された。両代表は、二国間、地域間、及び多国間レベルでの関係につきレビューし、最近の数多くの要人往来について強調した。また両代表は、民主主義や法の支配といった共有する原則に基づき、緊密な関係を深め、共働し続けることを再確認した。

(6) 第2回ベルギー・ウルグアイ政策協議

ベルムデス外務省政務総局長を筆頭に、ブリュッセルにて第2回ベルギー・ウルグアイ政策協議が行われた。両国代表団は、二国間関係及び貿易関係についてレビューし、協力方針に関する確認を行った。また両国は、世界レベルでの緊張に焦点を当てた分析を行った。

(7) デルガド大統領府長官の中国訪問

18日、デルガド大統領府長官は、中国公式訪問の枠組みにおいて、第3回一帯一路フォーラムに出席。同長官は、自身のX(旧ツイッター)を通じて、11月のラカジェ・ポウ大統領の訪中の準備のため、中国側とバイ会合を行った旨言及し、16日には中国国家発展改革委員会幹部と実りある会合を行った旨述べた。

(8) アルゼンチン及びパラグアイ大統領の当国訪問

27日、ラカジェ・ポウ大統領は、自身の公邸に、フェルナンデス亜大統領とペニャ・パラグアイ大統領を迎え入れ、2030年 FIFA ワールドカップの共同開催に向けた協議を行った。同会合には、ウルグアイからブスティージョ外相とバウサ・スポーツ庁長官、アルゼンチンからラメンス観光スポーツ大臣、パラグアイからルベン・ラミレス外相とセサル・ラミレス・スポーツ大臣、南米サッカー連盟会長及び3か国のサッカー協会会長が同席した。

(9) ラカジェ・ポウ大統領のマチャド・ベネズエラ野党大統領候補とのテレビ電話会談

27日、マチャド・ベネズエラ野党大統領候補は、自身のXアカウント(旧ツイッター)を通じて、ラカジェ・ポウ大統領とテレビ電話会談を行った旨掲載。マチャド候補は、「本日(10月27日)、ラカジェ・ポウ大統領と会談を行うという非常に喜ばしいことがあった。ラカジェ・ポウ大統領は、10月22日の模範となる日(注:ベネズエラ反政府派の大統領選統一候補選出のための予備選実施日。)にベネズエラ人がこの地域(中南米)の民主主義国に広めた楽観主義を確認した。」と述べた。

3 経済

(1) Google データセンターの建設予定

31日、デルガド大統領府長官、パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣、及びブビエル環境大臣は、ラビノビッチ Google スペイン語圏中南米政府関係・公共政策課長、及びコロデンコ Google コノスール政府関係・公共政策責任者との会合を実施。Google 社は、認可が得られ次第、ウルグアイに計画していたデータセンターを建設することを確認し、ウルグアイに対する信頼と Google 社の投資拡大の意向を確認した。

(2) 輸出額の減少

9月の輸出額は9億3,800万ドル(前年同期比▲9%)となり、今年に入ってから9か月連続して輸出額の減少が続いている。輸出額減少の背景には、ウルグアイ産食肉の中国からの需要が減少したこと、及び干ばつの影響を受けた大豆の販売が大きく減少したことが挙げられる。また、食肉と大豆の輸出減少に加え、9月にはセルロースの売り上げも低下した。

4 要人往来

(1) 往訪

- ・2日～14日: マツス農牧水産大臣のコスタリカ訪問(第22回米州農業委員会定期総会出席。)
- ・3日～4日: ファレロ運輸公共事業大臣のブラジル訪問(ドライポート及びリベラ空港の促進イベント出席。)
- ・5日～9日: ブスティージョ外相のイタリア訪問(ローマ教皇との会談。)
- ・9日～15日: アルベレチェ経済財務大臣のモロッコ訪問(世銀・IMF 合同年次総会出席。)
- ・14日～25日: デルガド大統領府長官の中国訪問(第3回一帯一路フォーラム出席。)
- ・19日～25日: ランド厚生大臣のカザフスタン訪問(アルマアタ宣言45周年・アスタナ宣言5周年記念国際会議出席。)
- ・23日～27日: ブビエル環境大臣のパナマ訪問(第23回ラテンアメリカ・カリブ地域大臣会合出席。)
- ・31日～11月3日: ランド厚生大臣のオーストリア訪問(国際医学物理機構(IOMP)イベント出席。)

(2) 来訪

- ・27日: フェルナンデス亜大統領及びペニャ・パラグアイ大統領の当地訪問(2030年 FIFA ワールドカップの共同開催に向けた首脳会合。)